ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース　No.198

発　行　日　　令和４年３月11日
発行責任者　　佐藤　成登志
会　員　数　　1,585名
事　務　局
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局
新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電 話　025－250－7660
FAX　025－250－7661

育ちあう環境づくりのお手伝いを

公益社団法人　新潟県理学療法士会
事務局　総務部・厚生部　**山　本　典　子**

今年度より、総務部・厚生部担当の理事を拝命いたしました山本典子です。

昨年度までは、４年間上越ブロック長を務めさせていただきました。会員の皆様には、上越ブロック研修会や、新人研修会、臨床実習指導者講習会などでお目にかかる機会がありました。また、当士会の重点目標である、管理者ネットワークの構築とブロック化について、会長はじめ、理事の方々のご指導の下、模索してまいりました。皆様のご協力のおかげで、少しずつネットワークの形が見えてきて、ブロック会員の皆様をはじめ、いろいろな方々とつながっている、という感覚が生まれてきました。

今までの様々な活動を通して、私が感じたことがあります。

私は、人と接することで、人の役に立てる仕事がしたくて、理学療法士を目指しました。理学療法士になって、多くの患者様に出会い、多くの患者様から感謝の言葉を頂きました。そして、多くのことを患者様から教えていただきました。力をつけたくて、研修会・講習会にも手あたり次第参加していました。

自分で自分を磨くことは、大切だし、必要なことだと思います。しかし、最近は、個人としてだけではなく、職能集団として、皆で成長することが、世の中の役に立ち、世の中への恩返しになるのではないかと、考えるようになりました。

そのためには、やはりネットワークを大切にし、「お互いに育ちあう」環境を作っていくことが大切だと思います。

先輩から学び、後輩に伝えることはもちろん、毎年入ってくる後輩からも、たくさんの事を学んでいます。年齢も、性別も、所属も越えて、お互いに学び、お互いに吸収しあう、そんな環境が自分の周りにあれば、最高ですね。

会員の皆様が、気軽に声を掛け合える、悩みを共有できる、そんな環境になるよう、力を尽くすのが、少しだけ先に理学療法士になった私にできることなのかと思っています。

新潟県理学療法士会の役員の皆様はとても温かい方々です。新しいシステムの導入を常に検討しながら、先達が作ってきたアナログのものも、大切に残そうと努力しています。

その役員の方々と一緒に仕事をさせていただける喜びを感じながら、これからもやっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

目　　次

育ちあう環境づくりのお手伝いを…… 1
リレーエッセイ…… 2
表彰委員会からのお知らせ…… 3
2021年度第５回拡大理事会議事録…… 4
学術局生涯学習部だより…… 9
事務局ニュース…… 12
広報部ニュース…… 14
編集後記…… 14

リレーエッセイ 1

「私のはまっているもの」

新光会　村上記念病院　**青　木　麻里乃**

私が最近はまっているのは「ミシン」です。長引くコロナ禍で外出や旅行が難しい中、何か自宅で楽しめる趣味を見つけたいと思っていたところ、職場の先輩に進められ、一緒に始めたのがミシンでした。はじめは糸の通し方もよく分からず、真っ直ぐ縫うこともままならなかったのですが、少しずつ形になっていくのがとても楽しかったです。初めて作ったものは先輩とお揃いの小さなトートバッグです。完成した時は嬉しかったですし、使っていてとても愛着がわいています。今まで作った作品はどれも気に入っていますが、１番のお気に入りはレザー生地で作った先輩とお揃いのショルダーバッグです。手作りだと自分の好きな生地で好みのものを作ることが出来るのでみなさんにもオススメです。いつも一緒に作ってくださる先輩には感謝しています。先輩と今度は何を作ろうかと考えるだけでもとても楽しい気持ちになります。

次回は、医療法人愛広会 アクティビティしばた緑町の鈴木眞美さんです。よろしくお願い致します。

リレーエッセイ 2

「私の大好きなスノーボード」

魚沼基幹病院　**井　佐　龍太郎**

私は今に限らず、高校生の頃からずっとスノーボードが大好きです。天気のいい日のゲレンデの美しさ、徐々に上達していく達成感、コースを颯爽と駆け抜けていく爽快感、滑り終わって帰りに食べるラーメンもまた格別です。スノーボードはきれいに滑ったり技を決めたりと、楽しみ方は人それぞれです。他者と競うわけではなく個人で楽しむところも魅力の１つです。独身の時は多少の怪我も気にせず、危ない滑り方をしていましたが、結婚し子供もできたことで１人の体ではない責任感が生まれ、怪我のないよう安全に楽しむようになりました。子供が大きくなったら一緒に滑りたいものです。父親として上手に指導できるように腕を磨きたいです。ですが、ここ数年はCOVID-19の蔓延によりゲレンデまで足を運ぶことを自粛するようになっています。他者と接触する機会の少ない屋外スポーツですがやはり気が引けます。一刻も早く終息し、気兼ねなく滑れることを願っています。

次回は木戸病院の佐々木祐太さんです。宜しくお願い致します。

倉島信作元会長が令和３年度新潟県知事表彰を受賞されました！

表彰委員会　中　山　裕　子

知事表彰とは、「県の経済、社会、文化の発展に貢献し、顕著な功績のあったもの、県民の模範となるもの又は県行政に積極的に協力したもの等」が該当となる賞です。倉島元会長は保健衛生分野での長年の功績により令和３年11月３日受賞され、11月18日に授賞式が行われました。

新潟県ＨＰ「令和３年度県知事表彰の被表彰者が決まりました」

https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/hisho/1356905575502.html

先生は昭和52年度～平成８年度まで20年間理事を務め、そのうち副会長として４年、昭和60年からは会長として８年もの長い間尽力されました。理事を退任されたあとは、相談役として18年間理事会を支え続けてくださいました。

多くの功績のうち主なものを紹介します。昭和56年４月の創立10周年記念事業において、国際身体障害者年協賛記念リハビリテーション福祉機器展を新潟県で初めて実行委員長として開催、県民へのリハビリテーション医療の普及啓発に貢献されました。さらに、昭和59年、平成３年には関東甲信越ブロック理学療法士学会を新潟県で開催、平成３年の大会では学会長を務められています。その後、平成８年の「社団法人」認可にあたって、法人化推進委員会設立準備委員長として、現在の士会組織の礎を作られています。

他に、平成８年に新潟県高齢者ケアサービス体制整備支援事業検討委員に就任され、介護保険サービスが開始される以前から新潟県の介護支援専門員養成に関わり、初年度から介護支援専門員実務研修の講師を永年務められ、県の介護事業に現在まで継続して貢献されています。また、現在の訪問リハビリ制度開始前から、在宅訪問活動を開始され、老人保健法における機能訓練事業に積極的に協力され、水原町をはじめ近隣10市町村の機能訓練事業に参加されています。さらに保健所が行う難病対策事業にも協力され、その過程で各地の健康対策事業の講演活動により従事者を育成、地域のリハビリテーション医療の発展および県民の保健医療福祉の向上に寄与されています。さらに理学療法教育にも尽力され、県内の理学療法士の養成校、国立療養所附属犀潟リハビリテーション学院（廃校）、晴陵リハビリテーション学院、新潟リハビリテーション専門学校（現新潟リハビリテーション大学）の非常勤講師として多くの理学療法士を養成されています。当時倉島先生の授業を受けた経験のある会員も多いのではないでしょうか。もちろん私もその一人です。

新潟県の理学療法草創期から現在まで、士会の発展および職能団体としての成長に尽力された先生の功績はあまりにも多くすべて紹介できませんが、少しでも先生の足跡に追いつけるよう研鑽してゆきたいと思います。この度の受賞、誠におめでとうございました。

2021年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第５回拡大理事会議事録

日　時：2021年12月19日（日）10：00～17：00
場　所：新潟県理学療法士会事務局およびwebにて実施
参加者：
理事　佐藤成登志、中山裕子、髙鳥真、郷貴大、小林諭、田村友則、松林義人、田中健、立石学、大野智也、上路拓美、柳保、小川恵一、飯田晋、藤澤明彦、山本典子
ブロック長　荻井夏江、諏訪和彦、松本香好美、高野義隆、本間宏彰
委員長　小野塚智紀（12：00～）、石井康朗、深川新市、五十嵐進
監事　太田智英、堀川武範
欠席　棚橋泉
日本理学療法士協会より　佐々木嘉光（JPTA）
西村佳代子（JPTA）
國保勝司（岡山県士会）

議　事

１．会長挨拶
２．報告事項
１）各部局から10月～11月（12月）事業報告について資料を基に報告。
＜資料補足＞
財務部：領収書の電子化の件は、現在紙保存であるため、原本が必須とのこと。今後電子化に向けて進めたい。
広報部：メルマガの登録数の修正589⇒601（12件増）メール未開封数90⇒87（３件減）に訂正。
表彰委員会：県知事表彰は倉島信作氏が受賞。阿賀野市報に掲載することになった。
２）各部局から今後の活動について資料を基に説明。
＜資料補足＞
厚生部：今年度は50周年記念式典・祝賀会の補助として計画していたので、予算執行は、その開催の有無に合わせることになる。
広報部：ロゴの商標登録については申請が終了して、あとは結果待ち。今年度中に明確にしたいが、結果がわかる時期はまだ不明。
生涯学習部：現在の新人プログラムについては、未修了者232名（そのうち今年度入会者55名）。マイページ修了申請していない会員には、声掛けし、申請漏れの無いようにしたい。また、追加の研修会も計画している。研修会自体、手つかずになっている会員について、今後の県士会活動に消極的になることを懸念している。
未修了者全員に、①今の履修状況の現状　②追加研修会など具体的な解決のお知らせを文書で郵送する。（事務局より発送、未修了の方のリストを事務局に送付）
就業支援部：１月30日の研修会、申し込み者が少ない。各ブロック長から周知協力してほしい。
スポーツ活動支援部：令和４年１月11日に「車いす使用者なども参加できる新潟シティマラソンへの拡充」に向け、新潟市長へ（公社）新潟県理学療法士会として要望書の提出を予定。（佐藤会長、飯田理事、山田規央PTが参加予定）
上越ブロック：上越ブロック連絡会は２月20日に実施決定した。
佐渡ブロック：令和４年１月開催で、顔合わせを目的としたブロック会議を開催予定。
副会長をはじめ、ご協力をお願いしたい。
下越ブロック：次年度に向けてもう一回地区長会議を検討している。
災害対策委員会：以前から実施しているＪＲＡＴ登録が進まない。
派遣時の交通費等の予算や保険は保障されているが、周知の面でまだ不十分。各ブロック長からも登録を呼びかけてほしい。
地域活動推進委員会：12月17日介護予防アドバイザー派遣事業に関して県の担当者と協議した。
６団体で市町村と助言者を支援するという考えで実施。Ｒ４年度は５回程度のアドバイザー研修を実施して、Ｒ５年度からは市町村や助言者を指導するアドバイザーを派遣していきたい。
助言者の派遣に関しては、徐々に６団体のまとまりが進んできた。助言者の派遣が一段落してきたので、通所Cに関するアドバイザーの育成にシフトしていきたい。
リハ専門職協議会は、今年度からOT四方会長に

移行している。来年度から事務局もOT士会に移行していく予定。地域包括支援専門職協議会は、現状を継続（佐藤会長が会長継続）

政治参加検討委員会：要望書などの文書の検討は、話し合いながら進めないといけないと考える。小川かつみ後援会の具体的な作業について、協会の方がなかなか進まない。

新潟県独自で動いていってほしい。

以上理事会承認

３．協議事項

１）各部局より2022年度事業計画案について資料を基に説明あり

＜資料補足＞

会長より来年度の重点項目（９項目）について説明あり。

・高年齢労働者就労支援に関するモデル事業について

新潟県士会として、協会の募集にエントリーした。会費収入のみの運営でなく、事業参入していきたいと考えている。内容は転倒予防・関節痛予防につながる支援に関して全体指導と個別支援を合わせてやっていけたら、と考えている。

・専門領域部会検討委員会の設置について

委員会の役割は、基本的に専門部会が成熟してくるまで、その促進をしていくことだと考える。新しく部会を作るより、今の委員会が成熟していく形が望ましいと思う。

財務部：電子化に向けた取り組みと、法人名義のクレジットカードについてすすめたい。

広報部：ゆきわり草についての検討。タカヨシ以外、別会社にも相談、次年度検討していきたい。

生涯学習部：

・新生涯学習制度として前期研修Aの１～６を対面で実施する。（eラーニングでも可能だが、対面でやろうと思っている）

・後期研修E　対面のみの症例発表会　１症例30分で実施。

開催方法は、①士会主催の症例検討会（ブロック内での症例検討会を含む）　②施設内での症例検討会（座長が士会に申請し士会が承認という形）　座長は登録理学療法士であれば可能。

・登録理学療法士の更新要件については、講習会ごとにカリキュラムコードをとり、１時間１ポイントで、ポイントを貯める。（５年間で50ポイント）

・認定・専門理学療法士の更新

以上、協会のホームページにも出ているが、一般の理学療法士に伝わるように広報・周知していきたい。

今回の改正で登録理学療法士が研修会講師や事例検討会座長もできるし、前期研修Aの実地研修もできる。登録理学療法士が、活動内容をよく知っていて、積極的に周知、活動してほしい。

学術誌部：来年度は県の学会が、３士会合同なので、学会誌の発刊はない。

地域包括ケアシステム推進部：来年度県の事業では、通所Cの支援と研修がメインになってくる。個別ケア会議への助言者の派遣は、専門職協議会を通しているので、一律5000円だが、通所Cなどへの派遣は、協議会を通していないため、ばらつきがある。個別のケースに関しては、それを根拠に同様にしてほしいと交渉したらどうか。

公益事業部：理学療法の日　全国一斉イベントは７月17日（日）に決まっている。

各ブロック（６ブロック）で実施することになるが、ブロックによって場所がないなど、事情が違う。講演、チラシ配りなど、決まった形でなくてもよいという多様な発想で実施していただきたい。

ブロック事業の展開と相談しながら、今までのイベントに加え、多様な形を検討していきたい。

市民公開講座は、来年度は専門職学術大会の年なので、学会内でやらずに違う形も検討。

また、学校からの出前授業の依頼などもあり、これからは、イベントに集まるのではなく、こちらが出かけていくことが増えそう。PTに限らず、専門職協議会でも共同してやっていけたらよい。

佐渡ブロック：会長・副会長にもサポートをお願いして、まず、会員にブロック構築の経緯などを周知してすすめていきたい。

災害対策委員会：来年度は、災害対策研修は単独で行う予定でいたが、６ブロックになり、今後の研修会の形は再検討していかなければいけないと考えている。

障がい児・者支援委員会：来年度11月12日～13日小児学会が開催。委員会からも５名が実行委員として協力予定。在宅医療の困っている事例で、小児

と精神科という話題が出る。具体的にどんな内容なのか、調べていきたい。

地域活動推進委員会：昨年までは地域包括ケア会議の助言者を養成する研修会が主だったが、通所Cへの援助が主になるので、通所Cのアドバイザーの養成研修にシフトしていく予定。

政治参加検討委員会：パワーポイント資料説明。組織図については検討が必要。ブロック長の負担を減らすために、理事も機能するように配置したらよい。（資料はドライブのリンクにアクセスして使ってほしい。）

２）各部局より2022年度事業計画案について資料を基に説明あり

財務部：全体予算の概要を説明。

今年度赤字予算であったので、来年度は黒字になるよう、調整していきたい。

今年度と大きく変更した点を各部で説明してほしい。

各部局で修正事項を検討、次回理事会までに、予算を修正。

３）定款変更の必要性について

運営において、メールでのやり取りで決めている部分があり、その件について、定款を変更しなくてもよいか検討したが、そもそも決議の手段について、定款にないため、定款変更しなくても差支えないのではないかと考えている。

定款変更の必要性については、次の総会までに決めればいいので、随時ご意見いただきたい。

４）定款細則変更について

以前メールでご確認いただいた定款細則について

・会費納入期限　　６月30日⇒**「３月31日」**に変更

・ガソリン代について

10ｋｍ150円⇒**「社会情勢に合わせて都度理事会で決定」**に変更

・日当の変更　２時間以内1,000円、２時間以上2,000円、４時間以上4,000円

⇒**「30分以上２時間未満1,000円、２時間以上は１時間1,000円とし、上限を8,000円とする。オンライン出席の場合は、電気代、通信料を鑑み、日当の1.3倍を支給する」**に変更

・予算　事業計画及び予算は、決算総会に報告し承認を得るものとする。

⇒**「本会の事業計画及び予算は定時総会で報告する。本会の事業報告と決算は定時総会に報告し承認を得るものとする。」**に変更。

以上理事会承認

５）50周年記念式典・祝賀会の開催日程、記念誌の発行について（報告）

日程は、６月18日、６月25日を候補日にして検討。現状では、経費面から、ライブ中継は考えず、自分たちで撮影し、後日配信という程度で考えている。

記念誌は、年度内に発行し発送予定。

６）ＩＨＥＡＴの人材バンク登録について（報告）

協会からＩＨＥＡＴの人材バンク登録について問い合わせが来ている。保健所における在宅療養者の疫学調査、感染症で忙しくなった職員の代わりに業務を行うという内容。（ホームページ参照）

本来業務との兼ね合いや、費用弁償の点で、困難な点はあるが広報していきたい。

７）新潟市の在宅医療介護推進協議会より（報告）

看護職・リハ職で、若い方が、在宅医療に勤務できるよう、助成金（研修中の給与の補填）が出されることになり、まず看護職から始めた。リハ職に関しても、今後進めていきたい。

４．協会・県士会意見交換会

司会　佐々木嘉光（JPTA）

書記　西村佳代子（JPTA 重点支援課課長）

岡山県士会　会長　國保勝司

佐々木：重点支援課　士会支援係の説明

（分掌規程）

①都道府県理学療法士会組織体制強化支援に関すること。

②都道府県理学療法士会と本会の共同事業に関すること。

③その他、士会支援に関すること。

⇒本日は①について話し合っていきたい。

１）事務局体制

・事務局員に求める機能について

郷：理事会や総会のある土・日に、事務局員が出勤していないため、会場の整備や議事録の作成など、理事に負担がかかる。

（予算不足から、事務局員の常勤雇用がで

きていない現状）

岡山：同様の課題がある。事務員が配置できていないが解決案がなくて同様の課題を抱えている。

郷：事務局員の労働環境は取り組み始めているが整備できていない。現在の社会情勢を考えて、事務員の在宅のテレワークが可能な状況にしているが、まだ整備しきれていない。在宅ワークも視野に入れた就業規則の整備を。

会長：社会保険は整備、雇用保険は整備していないが、助成金の申請等、社会保険労務士に相談しながらやりたい。

・事務局の事務所について

会長：事務所の老朽化、さらに手狭にもなってきている。今後、倉庫のレンタル等で補っていきたいと考えているが、移転についても考えていかなければいけない。その時に、PTだけでなく、３士会（ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ）とフロアを共有することが考えられないかと思っている。

國保：「拡大理事会」というのは予算や事業のために理事以外も参加ということか？

会長：通常の理事会は理事19名、拡大理事会は、理事のほか、ブロック長、委員会も参加している。（全６回のうち、定例３回、拡大３回、臨時以外はすべて土･日に開催）

２）事業運営

・事業について、ほとんど会員からの会費収入だが、事業収入として得ることができないか？（現状新潟では会費：事業収益＝９：１）

・士会事業に会員の協力20％は全国的に見ても高い割合、高い比率の理由は？

⇒会長：地域包括に関する事業に参加している会員が多い。学術活動・ブロック活動・公益事業等への参加も公募して、できるだけ参加をしてもらっている。

・市町村担当者の設置状況

⇒大野：地域包括分野に関する30市町村の担当者を設置している。

地域包括の関係で会員の派遣調整をするときに、地域の担当者に連絡してとりまとめをしてもらっている。

・会費・研修会費以外の収入獲得に関する取り組みへの課題

⇒会長：２つの協議会　新潟県リハビリテーション専門職協議会・新潟県地域包括専門職協議会を経由した県からの収入があるが、県の予算であるので、県の意向に沿って行かなければいけない点や、多職種での連携において、意見の違いが生じたりして、自由には使えない面がある。

⇒大野：オンラインの研修会の時にメルペイのシステムを使ってみたが、研修会時の決済システムは課題。

⇒郷：県からの補助金を活用していきたいが、補助金は単年度決済になるので、物品には使えるが、事務員の人件費等には当てにくい状況

・効率的な事業運営のために実施していること

⇒髙鳥：大会長と学会準備委員長の選出について、県士会長ではなく、各地区で持ち回りで実施し、各地区で選出している。

⇒飯田：新潟シティマラソンについて、以前は車いすの方も参加可能であったが、ある時からできなくなった。車いすの方も再び参加できるようにしたいという会員からの動きを受けて県士会でもサポートを行った。

佐々木：スポーツ庁が障害者のスポーツの推進について目標達成できておらず、室伏庁官が大分マラソンの視察に行ったりしている。チャンスだと思うので、展開していってほしい（横展開になるといい）。

岡安：ブロック化が進んでいる様子。新潟県は、南北に長く、会員の分布に差がないか？そのために、同様に事業を展開することは難しくないか？

会長：新潟市近郊と長岡に多い。そのため、会員の多い地区はさらに小ブロックに分けたりして展開している。

中山：少ない地区は合同で事業をやったりしている。佐渡は、別に考えなければいけないと考えている。

３）他団体連携

・建築士会との連携は興味深いが、具体的には

どんなことか？

⇒大野：建築士会から、住宅改修の件で、連携していきたいが、切り口がつかめないので、協力を要請してきた。研修会にオンラインで参加していただいたりした。来年度以降も接点を持っていきたいと考えている。

佐々木：国交省の関係で、住宅課というところのスマートシティの構想で、理学療法士の視点と建築関係のつながりを探っていたため注目した。

・JRATに関して県との協定はどうなっているか？

⇒小野塚：新潟JRATの統括をしている新潟大学医歯学総合病院の木村先生と連絡を取っているが、県との協定をどのように進めるかは具体的になっていない。今後できるだけ早く県との協定をすすめていきたい。

4）休会制度について

・休会の理由について

⇒会長：休会の多くは、ご夫婦で会員、産休・育休中などで、刊行物が二重にいらないなど。いろいろ検討している。

郷：休会制度自体は必要。今まで、休会者の広報をしていたが、休会をあおることにならないよう、広報については検討していかなければ、と考えている。他士会の情報も欲しい。

上路：何年か前に休会者にアンケートを実施した。（アンケート説明）

休会の理由は様々。会としてどういうことをしているのかを広報、働きながら子育てをしている人達へのサポートが大切なのでは。

＊アンケート結果⇒協会に資料提供

5）その他　要望・意見

・新生涯学習システムについて実地研修施設の申し込み

⇒今後１年に１回は募集していく。時期については未定。

・高年齢労働者の事業について

⇒６県から申し込みで３県決定している。

通知を待って、採択されていれば、７月末に３つの県で集まって、キックオフ予定。

・その他

⇒深川：休会・退会　ゆくゆくは大変な問題になると思う。

社会的には組織率が高い方が力があるので、県独自の組織体制を考えなければいけないと考えられる。協会も検討してほしい。

佐々木：協会に持ち帰り検討。

⇒田中：研修会申し込みで、現金振り込みの場合のキャンセル時の、キャンセルしたひとのペナルティを考えていただけないか。

佐々木：協会に持ち帰り検討。

⇒深川：県士会でやる研修会はポイントが付くが、他士会と連携した研修会について、ポイントが付くように働きかけていただけないか。

佐々木：新システムを５年ごとに見直しするので、検討していきたい。

國保：傍聴ありがとうございました。協会からの士会支援係という形だったが、逆に参考になることがたくさんあり、感謝している。

佐々木：新プロの取得に対しての援助が温かいと感じた。県への要望書など、働きかけが積極的と感じた。

会長　佐藤成登志
監事　太田　智英
　　堀川　武範
以上

学術局生涯学習部だより

学術局長　髙　鳥　　真
生涯学習部部長　田　中　　健

会員の皆様には平素より当士会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、依然、多くの方が大きなリスクを抱えながら日々の業務にあたられていることと存じます。どうぞ、くれぐれもお身体にご留意ください。

■　2022年４月！新生涯学習制度開始！

新生涯学習システムが**2022年４月から**実施されます。１月中旬に個人宛に送られている『登録内容の確認のお知らせ』をご確認ください。詳しくは、協会HPをご確認ください。

生涯学習履歴を確認できたら、新制度開始後の履修内容を確認しよう！

←「新生涯学習制度への移行」欄を確認！

←新制度開始後の履修内容が簡単に分かる「診断ツール」で確認！

現制度中（2022年３月末まで）に履修単位や生涯学習ポイントは取得したいときは？

➢新人教育プログラムを修了したい方：

←新人教育プログラム受講の詳細を確認！

➢生涯学習ポイントを取得したい方：

←学会や研修会参加以外にもポイントを取得できる活動があります。詳細を確認！

「講習会・研修会一覧」から開催予定のセミナーを検索してみよう！
新人教育プログラムの履修、生涯学習ポイントが取得できるセミナーの開催情報を確認！

新制度の情報はどこから得られるの？

➢協会HPを確認しよう！

←制度概要・カリキュラム・マニュアル等の情報を掲載中！

➢マイページ（会員専用コンテンツ）を確認しよう！

←より詳しい制度の詳細はマイページに情報を掲載中！

➢動画で見てみよう！

←新制度に関する動画を多数公開中！

➢SNSをフォローしよう！

←Twitterで情報を発信中！
「@jpta_shougai」

■　**新型コロナウイルス等の感染予防・感染拡大防止への対応について**

当士会主催の研修会実施に際して、新型コロナウイルスなどに対する感染症予防および感染拡大防止の対策として以下のように対応していきます。

＜当士会の対策＞

研修会に関わるスタッフは、日常における体調管理を徹底し、検温、手洗い、うがい、マスク着用等の感染予防を励行し、研修会開催２週間前までの間に県外移動を行わない、10名以上の会議、会食に参加しない上で対応をいたします。

＜参加者へのお願い＞

●発熱、咳などの症状がある場合は、参加を控えていただきますようお願いいたします
●参加の際は、マスクの着用をお願いいたします
●受付時に体温を計測させていただき、37.5℃以上の方は参加をお断りさせていただく場合がございます
●手洗いや備え付けの消毒液のご使用をお願いいたします
●研修会時のソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いいたします
●受講中に体調の変化が認められた場合は、無理をせずに早めにスタッフへお申し出ください
●今後の社会情勢によっては、研修会を中止させていただく場合もございます。開催の有無につきましては、新潟県理学療法士会ホームページ等でお知らせいたしますのでご確認ください

■　**県士会主催WEB研修会への参加方法について（Zoomシステム利用の場合）**

●パソコンもしくはスマートフォンに、Zoomのアプリをインストール（無料）し、登録を済ませてください
●Zoomの使用につきましては、各個人での責任でお願いいたします。接続中は多くの通信量（およそ90分で0.5GB）が必要です。Wi-fi環境をご確認の上ご利用ください。研修会にかかる通信料金については、県士会は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください
●お申し込み後、申し込み時のメールアドレスへ参加に必要なURL、ID、パスワードをお知らせします。研修会によってはZoomミーティングの事前登録をお願いする場合がございます
●研修会開催日３日前になっても参加に必要なURL、ID、パスワードが届かない場合は、各研修会の問い合わせ先へご連絡ください
●研修会によってはZoomミーティングへの入室方法が異なる場合がございます。各研修会案内をご確認ください
●研修会時に出欠確認を行う場合があります。県士会主催の研修会へ参加の際は、**名前を「会員番号_氏名（フルネーム）」でご登録**ください
●Zoom画面の録画や録音、撮影は一切行わないようにお願いします
●不正行為が確認された場合は、受講を認めずポイント付与にならない場合があります

※メールアドレスの入力不備により参加できない事案が多く発生しております。登録の際はご注意ください

☆研修会ポイント認定について

遅刻や早退はポイント認定にならない場合がありますのでご注意ください。

☆研修会申込み後のキャンセルについて

ご注意ください！　研修会申込み後のキャンセルについては返金ができません。
原則として参加承認後のキャンセルに伴う返金は出来ません。また、参加費の支払いをせずに欠席された場合でもご入金頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申し込みに際しては、よく検討した上でお申し込みくださいますようお願い致します。また、止むを得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。ご理解とご協力をお願い致します。

キャンセル専用アドレス：pt.gakujutu@gmail.com

※研修会が天候等の事情で止むを得ず中止・延期となる場合は、メールにてご連絡をいたします。協会に登録してある連絡先メールアドレスに送信いたしますので、メールアドレスの登録及び受信可能なアドレスであることを確認してください。また、県士会ホームページに情報掲載を行いますので、必ずご確認ください。

○研修会DVDの貸出しについて

木戸病院　江川　真司　E-mail：rehabilitation@kido-hp.com

○生涯学習（研修会･ポイント）関連のお問い合わせ

桑名病院　田中　健　E-mail：ken-pt@mail.goo.ne.jp

○学術誌関連のお問い合わせ

新潟リハビリテーション病院　立石　学　E-mail：nirehp.m-tateishi@aiko.or.jp

○学術局全体のお問い合わせ

晴陵リハビリテーション学院　髙鳥　真　E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修
㈱ G・T・B (オーエックス新越)
〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2-28-27
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp

有限会社 長谷川義肢製作所
〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電話 (025)223-3630
FAX (025)222-2750

HII 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所
〒950-0086 新潟市中央区花園2-2-19
TEL:025-240-0003 FAX:025-241-6655
URL: http://www.hi-college.ac.jp

全てはお客様の笑顔のために
まごころ印刷の
株式会社タカヨシ
帳票
発送代行
ラベル・シール
WEB・デジタル
■本社・工場
〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL(025)381-2000㈹
医療関係印刷物はタカヨシで https://www.takayoshi.co.jp

義肢・装具・車いす・インソール
ご相談、ご用命は弊社にお任せください。

㈱田村義肢製作所
〒950-1151 新潟市中央区湖南21-11
TEL：(025)281-0303
FAX：(025)281-0339
田村義肢 検索

リハノメ PT・OT・STのための総合オンラインセミナー
年間200本以上配信！
1ヶ月見放題プラン
通常料金3,080円が
初回限定
980円
お申込はこちら▶
リハビリテーションを『かたち』にする会社 gene
seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611 リハノメ 検索

【施設名称変更】

・介護老人保健施設みさと苑
　→特別養護老人ホームみさと苑

【育児休暇割引】

・１件

２　他士会関係

①ニュース（他県士会）

京 都 府　No.288
熊 本 県　Vol.137
長 野 県　No.77
北 海 道　No.229
千 葉 県　第219号
大 阪 府　第288号 289号
和歌山県　No.94
秋 田 県　第203号
兵 庫 県　No.192 No.193
静 岡 県　No.189
茨 城 県　No.174
神奈川県　No.290
広 島 県　No.268
愛 知 県　No.203

②学術誌・学会誌

第31回京都府理学療法士学会プログラム集
理学療法学VOL.48, No.6　2021

③その他

next STage 第80号（一般社団法人新潟県言語聴覚士会）
響希Vol.11（一般社団法人新潟県介護支援専門員協会）
ニュースレターNo.22（新潟県難病医療ネットワーク）
新潟社会福祉士実践報告　第20号（公益社団法人新潟県社会福祉士会）
新潟県訪問看護ステーション協議会だより 第7号
JPTANEWS Vol.334
NO Limit　vol.87
QOLサポーター新潟No.57（新潟医療福祉大学）

３　異動･休会･復会･退会の手続きについて

異動（休退会含む）が生じ次第、速やかに協会マイページより、変更手続きをお願い致します。

休退会、転出については、年会費の未納がある場合はお手続きが出来ません。納入確認後にお手続きをお願いします。※マイページID、パスワード紛失の場合は日本理学療法士会TEL:03-6804-1421へお問合せください。

＜自宅会員へのお願い＞

現在、施設に所属していて自宅会員で申請している方へお願いです。

所属施設でまとめて郵送物を受け取れますよう自宅から施設への変更手続きを協会マイページより変更手続きをお願い致します。

［問い合わせ］

〒950-0912　新潟市中央区南笹口１丁目１番38号
コープオリンピア笹口303号
公益社団法人　新潟県理学療法士会　事務局　宛
TEL：025－250－7660　FAX：025－250－7661
（電話対応は月曜～金曜の９：00 ～ 16：00）
E-mail：jimukyoku@nipta.jp

広報部ニュース

「県士会からのお知らせ」の運用について

2021年度より、会員への迅速な情報発信とペーパーレス化の実現に向けて、月1回郵送している「県士会からのお知らせ」をメルマガ配信ならびにホームページの「会員限定ページ」への掲載へと移行いたしました。

つきましては、会員の皆様におかれましてはメルマガへの登録をお願いいたします。

メルマガ登録方法について

【パソコンまたはスマホから】

QR コードからでも
登録できます

【メルマガ登録について】

1．職場での登録、個人の登録、どちらでも構いません。
2．フィルター設定をされている場合は、下記アドレスの登録をお願いします。
admin@nipta.or.jp
3．登録は、「会員番号」「氏名」「メールアドレス」を入力していただくだけです。
4．登録された内容は、メルマガ発信以外に使用いたしません。
5．登録後、「承認メール」が届きます。「承認のリンク」のクリックをして登録完了となります。必ず、承認の確認をお願いします。
6．メルマガについて、ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

【問い合わせ】
（公社）新潟県理学療法士会　事務局広報部長　松林義人（新潟リハビリテーション大学内）
TEL：0254-56-8292（代表）　Mail：matsubayashi@nur.ac.jp

編集後記

新型コロナウイルス感染症が落ち着かず、第6波は小中学校の休校や保育園の休園などによって仕事に行くことができないことから、各領域で働き手の不足が大きな問題となっています。新型コロナウイルスが日本に猛威を振るいだしてから2年以上が経過しました。来年こそは感染に左右されない生活を送っていることができているのか、それともこのままであるのか。この先に不安を感じながらも、新型コロナウイルスに振り回されている生活が常態化しつつある今日この頃です。　（Y）

ゆきわり草　No.198

編集責任者　松　林　義　人

問い合せ先　新潟リハビリテーション大学
〒958-0053　村上市上の山2－16
TEL（0254）56－8292
FAX（0254）56－8291
E-mail：matsubayashi@nur.ac.jp